

第5次越谷市行政改革の平成26年度実施状況

越谷市では、今後とも厳しい財政環境が見込まれる中で、第4次越谷市総合振興計画の着実な推進を図り、市民満足度の高いまちづくりを進めるため、平成23年度から平成27年度までを計画期間とする第5次越谷市行政改革に取り組んでいます。

第5次越谷市行政改革では、「事務事業の徹底見直し」をはじめ、「経費の節減・合理化等財政の健全化」など、大綱で掲げる推進事項に基づき、26項目の取組を当初に実施計画として位置付けています。

計画期間の4年目となる平成26年度の進捗状況は、「実施」23項目、「着手」1項目、「検討」2項目、進捗率（実施項目数/全項目数）は、88.5%でした。

また、「実施」の項目のうち、財政的効果を算出した取組の効果額の合計は、約6億4,200万円で、その後に追加した取組の効果額を含めると、約7億3,100万円になります。

このことにより、平成23年度から平成26年度までの取組による効果額の累計は、約25億2,100万円となりました。これらの経費削減や歳入確保の取組により得られた財源、あるいは業務の質的向上等を通じて、市民の皆さんへのサービスの充実や将来にわたるまちづくりの一層の推進を今後とも適切に図ってまいります。（各年度における取組の詳細については、それぞれの実績報告書をご覧ください。市ホームページ等でご覧になれます。）

平成26年度の主な取組と効果額（概算）

- ・ 民間保育園の整備促進 【6億4,201万4,000円】
- ・ 敬老祝金の見直し 【5,940万3,000円】
- ・ 老人福祉センター利用者送迎バスの見直し 【1,911万8,000円】
- ・ 行政財産の貸付による収入確保 【658万円】

※ 財政的効果額は、各取組による経費削減額又は歳入確保額から、その実施に要した投入経費を差し引いた実質効果額によるものです。

※ 各年度における効果額については、その年度に新たに生じた（又は初出となった）分のみを計上し、既往の取組分の効果額を毎年度累積的に上乘せする方法は採っていません。